

まるこやま

第79号

令和5年5月21日

〒699-1251
雲南市大東町大東2419-1
大東交流センター
TEL(0854)43-2130



E-mail:daito-c@daito-center.org
http://user.yoitoko.jp/daito-c/

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会

春うらら 桜満開 桜まつり



久々登場!!
よいとこ戦隊
ダイトレンジャー



「ふうせんおじさん」の
おしゃべりと
バルーンアート



つなげようアフターコロナへ

～伝統行事や文化・スポーツ～



新たなコミュニティ形成の場に

大東地区体育協会

令和5年度第1回評議員会が4月27日に大東公園市民体育館で開催され、新しく選任された岸野俊一会長の進行で、新年度の事業計画や予算案が審議されました。

冒頭に会長より「コロナ禍でのこの3年間は思うような活動ができませんでしたが、5月8日より感染症上の取扱いが2類から5類になることから、生活上の制約はほとんどなくなり、元の日常に戻ることとなります。しかしこの3年間で失ったものは大きく、再スタートするための大きなエネルギーと、人口減少・少子高齢化の時代に対応する活動内容見直しが必要と思っています。本会規約に基づき、地域の融和と体育・レクリエーションの振興を図っていくうえで、皆様のご意見をお聞かせください」との挨拶がありました。

評議員から「自治会員の数や年齢構成等で自治会対抗の競技は無理」「小学生がいない、リレーできる年代がいない等でこれまでの運動会種目では無理」などの意見が出されました。



これを受けて、「スポーツ競技ではこれまでも個人参加希望者同士が自治会を越えてチームを組み、参加してもらいました。また地区民体育大会は時間短縮と内容を大きく見直す必要があると考えています。今後の理事会で本日出された意見等を検討し、遅くとも8月に開催する第2回評議員会で具体的な内容を提案します」としたうえで、事業計画案、予算案が承認されました。

「テンテコテンノタナバタサン」を次世代へ

大東七夕祭保存会

大東七夕祭保存会では、コロナ禍でもできる限りの雰囲気づくりや伝統をつなげていくために各戸での笹飾り、スイカ提灯飾り等の取組みをされてきましたが、このところ新型コロナウイルス感染症の感染状況が、少しずつ収まりを見せ、落ち着きを取り戻しつつあることから、4年ぶりの祭り再開に向けた協議が進められました。4月21日の宮代表者会に続き、5月8日の役員会では、「450年近く受け継がれた大東ならではの子ども七夕行列が長らく中止となると忘れられてしまう。今できる限りの取組をしましょう」「4年間のブランクがあるので、今の子どもたちはほとんど未経験です。是非、自治会や地域の七夕行列経験者でサポートしながら、あの熱い夏を取り戻しましょう。地域のコミュニケーションを高めることにもなると思います」「子どもたちが少なくなり行列が難しくなっています。今年各宮で従前を基本とした出来る範囲での取り組む



中でいろいろ課題が見えてくるだろうから、来年に向けてそれを見直していきましょう」などの意見がありました。5月15日に開催された総会では、これらを基本にした事業計画、予算が承認され、いよいよ本来の大東七夕祭がスタートします。

高橋保存会長から「大変でしょうが、それぞれが感染対策をとりながら、しっかりと伝統ある大東七夕祭をみんなで守り伝えていきましょう」との挨拶で閉会となりました。

大東小学校創立 150周年記念事業

実行委員会だより

昨年11月より記念事業に対するご寄付をお願いいたしましたところ、5月9日現在3,493,000円(1,245件)のご支援をいただきました。深く感謝申し上げます。今後予定しています関係団体の補助金や協力金と併せた資金を基に、「150年の歴史と伝統に感謝し、更なる充実と発展、飛躍の契機」となるよう、記念事業を実施してまいります。



主な記念事業内容

- (1) 記念式典 (全校児童参加、来賓・地域の皆様・保護者の皆様へご案内)
 - ・日時会場：11月12日10時より大東公園市民体育館
 - ・式典概要：記念式典、6年生の学習発表、1～5年生呼びかけ、パネル展示
- (2) 記念品
 - ・記念品目：学校へ時計塔、絵画、児童へ図書カード
- (3) 記念誌 (2千円以上の寄付者様への返礼品)
 - ・スタイル：A4判およそ120ページ 来年1月発行予定

大東小学校の校歌

大東小学校創立150周年
記念誌専任執筆者
青木 愛治

校歌
一、あ、赤川の源清く
真澄める流れ、鏡となりて
学理を究め、藝をわたりて
我等自律のよき子は、勤む
二、大きな自然の、忍意をうけて
磨く心の、真玉白玉
敬と愛に、輝くところ
見よ大空の、陽光もうらぐ
三、不断に努め、不断に伸びる
剛健無比の、よき子我等が
希望は、高き、微笑むところ
希望は、高き、ほのかにおる

大東小の現在の校歌は昭和22年に制定されました。

文部省唱歌「スキー」(山はしろがね 朝日を浴びて……)などと同様、歌詞は7音句を繰り返す七七調で作られており、当地の自然や大東小の教育理念が典雅な文語調で高らかにうたいあげられています。また、1番から3番の歌詞には、それぞれ、同校の校訓「自律 敬愛 剛健」の3つの言葉が織り込まれています。

本校歌制定の経緯は定かではありませんが、作詞者の栗間久氏は、大原郡立農業学校(現・大東高校)の第2期卒業生で、県中学校長会会長や全国中学校長会副会長などの要職を務め、教育界に大きな足跡を残された教育者、栗間久氏であるものと思われます。

作曲者は稲田泰氏で、同氏は明治38年生まれで、本県の出身。戦前まではピアノを学ぶかたわら音楽美学の研究を続け、戦後は音楽教育に専念して、都立高校で教鞭を執りながら地域の合唱連盟などの育成に尽力され、全国高校音楽教育研究会の常任理事も務められました。

松江市立母衣小学校の校歌なども作曲しておられます。



150周年の記念に絵画を寄贈



4月10日の始業式にあわせて、地元で絵画教室などいろいろ幅広く活動しておられる日展会友の画家藤本雄二さんが、油絵「爛漫の郷里」を大東小学校に寄贈されました。描かれているのは市民の憩いの場であり、児童たちの活動の場でもある丸子山公園の桜で、小学校の校章のモチーフになっている桜でもあります。油絵は小学校の昇降口に飾られています。青く澄んだ空とピンクの桜のコントラストを楽しんでみてください。

展示用写真・資料等借用のお願い

大東小学校創立150周年記念事業実行委員会では、11月12日に開催する記念式典会場において大東小学校創立150年のあゆみ資料を展示します。資料の一部として市民の皆様所有の大東小学校に関する写真や資料等を一定期間お借りして展示致します。

「当時の教科書・学用品・〇〇の記念品・遊び道具」や「なつかしい写真」等お持ちの方は、ぜひご連絡ください。



大東地域交流センター：電話43-2130

掲示板 パチリ



春の訪れとともに「観音さん」

保存会による大東観音まつりが4月15日16日に連坦地で行われました。日露戦争後、戦場に散った戦友の供養を営むとともに、平和な大東のまちづくりと家内安全を願い、明治39年に有志が「聖観音」「千手観音」「十一面観音」「馬頭観音」など三十三体を安置したことからはじまりました。彫像は大東で仏壇、仏具、仏像などの傑作を残した仏師、清水市太郎父子の作です。



恒例の大日如来春祭りが 4月23日に執り行われました

大日如来ほか三仏が県の重要文化財に指定される以前の昭和33年3月1日付で町の文化財に指定された折に、地元有志を中心に発足された大日如来保存会(狩野久芳会長)が65年を迎えられ、更に現在の万福寺近くの高台に建てられたお堂ができて30年になります。毎年の春と秋の例祭を中心に仏像の保護顕彰を図っておられます。



30年間ありがとう

都市計画公園事業で平成5年3月に完成した大東公園展望台の風車塔が老朽化により撤去されます。散歩コースの休憩所や街中が見下ろせる展望台、遠くからでも丸子山公園の目印となっていた風車塔でした。



大東高校そろって中国大会出場 頑張っています!!



女子ソフトボール選手権大会
5月13・14日浜山公園野球場



剣道選手権大会
6月10・11日ジッパアリーナ岡山



バレーボール選手権大会
5月13・14日鳥取県民体育館



空手道選手権大会
6月16~18日鳥取県立武道館
女子団体形・組手 女子個人形・組手
男子個人形・組手





“担い手不足解消への挑戦”

越戸 山本 典生



私は四年半前に大阪より家族5人で移住し、その後この大東の地で新たに3男が生まれ現在は家族6人で暮らしています。大阪では会社員として勤めていましたが、日々生活をしていく中で何か自分でモノ作りがしてみたいと感じていました。も

ともと本を読むことが好きで農業に関する本を読んでいた際に、担い手不足の深刻さを目にしました。日本は食料自給率が低くこんなに恵まれた気候に住んでいるのもったいないなあという思いから“これからは農業だ”と、見学や家族との相談を重ねこの雲南市に移住を決めました。

市からの提案で三年間は地域おこし協力隊を務め、農業を体験させていただきました。大阪では家庭菜園もしたことがありませんでしたので、機械の使い方はもちろんなにもかもが初体験でした。新しい事を学ぶのは好きな方で楽しいですが、やはり農業は長年の勘や経験が大切な仕事ですのでまだまだ勉強する事は盛りだくさんです。今までデスクワークが多く運動不足気味でしたが、農業に関わることで運動量も増え、おかげさまで無駄な脂肪も取れ健康体になりました。

私がいま目標としている事は“農業の復活”です。

大きなチャレンジにはなりますが、一生懸命働いても儲からないということや朝から晩まで働きめなどのイメージを払拭したいと思います。

今はまだまだ新人農家ですので、まずはおいしいと思っていただける野菜を作ることを優先に技術力をつけていきたいと思っています。ゆくゆくはその野菜を雲南ブランドとしてどのように販売していくのか、いかに効率よく栽培するかということも考えていきたいと思っています。

今は、昨年より栽培を始めたネギ作りの真っ最中！！仕事をしている私を見て、息子たちは“大きくなったら手伝うね”と言ってくれているのでその日が来るのを楽しみにしています。農業に全く興味が無かった妻も手伝ってくれると言ってくれていますので、担い手一人目ゲット？小さい目標達成(笑)ですね。

これからの課題はたくさんあり日々成長できる気がしてワクワクがとまりませんが、私の野菜を見かけましたら少し手に取っていただければと思います。



時代は移ろいゆくけれど…。

金成下 藤原 結美



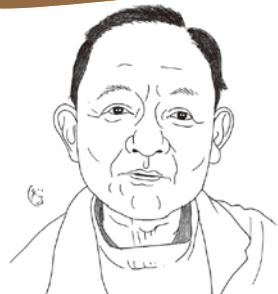
前号(第78号)に掲載した写真に不具合がありました。お詫びし、改めて掲載いたします。



感謝、感謝!です。

北町自治会 西村 武

平成27年4月採用され8年間、大東地区自治振興協議会活動支援局の一員として勤務させて頂きましたが、この度任期を終え退職いたしました。この間、職場の皆さんの温かいご理解とご協力の下、楽しく仕事が出来たこと本当に有り難く只々感謝しかありません。多くの皆さんとの出会い・交流ができたこと、地元の皆さんの声に耳を傾け島根県や雲南市の方へ陳情・要望書を提出したこと、本紙「まるこやま」の編集に携われたこと、全てが我が人生のかけがえのない宝物であり良き思い出となりました。



(絵:大東町東町北 細田 滋)

また、「この人に聞く」の取材では、苦勞された体験、それぞれの人生観、将来の夢等を語っていただき本当に勉強になりました。取材に快く応じご協力を頂きました皆様に改めて感謝申し上げます。そして交流センターが今後益々集い・活力の場・憩いの場として発展していけますよう心よりお祈り致します。

令和5年5月吉日

暮らしと文化

今は無き「正覚寺」

大東の歴史をたずねる会 会友 恩田 仁志

植物学者・牧野富太郎の人生をモデルにした連続テレビ小説『らんまん』。幼少期の一場面に学問所から小学校にかわるころのエピソードも放送されました。本年150周年を迎える大東小学校も、その前身となる学習の場は複数ありました。そのひとつが、新庄にあった正覚寺です。

大東から松江へ向かう道は、現在は赤川の北側の県道がメインルートですが、その昔は赤川の南を通る現在の市道が往来の中心。鏡神社から南に延びる参道にある中村橋の先で丁字路となっています。正覚寺はその近くの山裾にありました。間口は四間、奥行き二間半の草葺きで、ご本尊は聖観音菩薩。東向きと伝わる堂宇の場所は明確にはわかりませんが、今も近隣の皆様が大切に護っている三界萬霊塔近くと考えられます。三界萬霊塔は高さ2メートルを超える立派なもので、寛政9年（1797年）造立と刻字されています。その脇には、お地蔵様と秋葉権現の石塔もあります。

正覚寺は寺子屋としての役目を終え、また廃仏毀釈により明治17年頃に廃寺となりました。御本尊

は長安寺に遷座されました。

正覚寺の開山年は不明ですが、享保年間に編纂された雲陽誌（1717年）に記載されているほか、御本尊とともに移管され、長安寺で今も使われている鉦鼓という鐘には、寛政6年（1794年）に新庄村民により寄進されたことが刻字されています。

新庄村では、松江藩が奨励した朝鮮人参栽培が行われていました。今では大根島（松江市八束町）だけが産地として知られていますが、当時は新庄村ほか、旧大原郡で栽培するものの方が品質がよいと評価されていたようです。

子どもたちの歓声、そのまわりで働く人々の姿が思い浮かぶようです。



「生まれ育った郷土（地区）を愛し、地区発展を願う者同士、少しずつ得意なものを出し合い、支え合いながら、和気あいあいとした地域社会を目指しましょう」と募金窓口を開設して今年で13年目を迎えました。この間に延337人の方からおよそ540万円の浄財や防犯カメラ、高校下宿生に対する玄米などの物品提供をいただき、延べ120件の地域づくり事業、ひとづくり事業に活用させていただきました。誠にありがとうございます。デジタル社会を迎え、人間関係の希薄化が心配されていますが、引き続きあいあい募金活動にご理解ご協力をいただき、暮らしやすい地域を目指しましょう。

ご寄付に感謝致します

- ・大東町（大木原）小山 保雄 様（一般寄付）
- ・大東町（新庄南）原 信夫 様（香典返し）
- ・大東町（北 町）西村 武 様（一般寄付）
- ・大東町（大木原）南波 正義 様（香典返し）



皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。

大東地区振興あいあい募金運営委員会 (TEL: 43-2130)

あいあい募金活用事業有効活用ください

令和5年度採択

- ・ハートフルロードボランティア大木原（交付金45,000円）
「地区内草刈りボランティア活動」
- ・大東ジュニアフットボールクラブ……（交付金45,000円）
「運動しながら英語に触れよう！」
- ・新庄通学路ボランティアの会……（交付金40,000円）
「子どもや住民の安心・安全確保活動」
- ・東町ベタंक同好会……（交付金45,000円）
「会員の親睦とフレイル予防、健康維持活動」
- ・大東小学校創立150周年記念事業実行委員会（50,000円）
「大東小学校150年の歴史を未来につなげよう！」

令和5年4月末現在の人口・世帯数

【（）内は対前々月比】

	総人口	男性	女性	世帯数	高齢化率
雲南市	35,415人 (-191人)	17,103人 (-76人)	18,312人 (-115人)	13,594世帯 (+1世帯)	40.51% (+0.17%)
大東町	11,280人 (-62人)	5,508人 (-34人)	5,772人 (-28人)	4,111世帯 (-6世帯)	40.51% (+0.08%)
大東地区	3,358人 (-22人)	1,626人 (-14人)	1,732人 (-8人)	1,278世帯 (+1世帯)	

資料：雲南市HPより